



世田谷区は区内および隣接に17の大学・学部があります。各大学の専門性や特色を活かし、区内の様々な課題に区や地域と協働して取り組んでいます。今回は成城大学の紹介と地域と協力した取り組みをご紹介します！



成城大学

経済学部[経済学科/経営学科] 文芸学部[国文学科/英文学科/芸術学科/文化史学科/マスコミュニケーション学科/ヨーロッパ文化学科] 法学部[法律学科] 社会イノベーション学部[政策イノベーション学科/心理社会学科]

各種教育研究センター[共通教育研究センター/データサイエンス教育研究センター/国際センター/キャリアセンター]

少人数ゼミナールと多彩な全学共通科目

成城大学は4学部11学科を擁し、人文社会科学領域の特色ある研究・教育を行っています。学びの軸となるのは、全学生必修の少人数ゼミナールです。学生各々の興味・関心を深く探究する場であり、学生同士が発表、議論を重ねることでコミュニケーション力やプレゼンテーション力を鍛える場ともなっています。

また、教養科目、リテラシー科目、国際交流科目、キャリアデザイン科目、データサイエンス科目、スポーツ・ウエルネス科目からなる豊富な全学共通教育科目を提供することで、専門分野以外にも目を向け、次世代で活躍するための多角的な視野、柔軟な思考力、実践的なスキルを養います。



感染予防にも配慮した快適なワンキャンパス

キャンパスは最寄り駅から徒歩4分ながら、緑豊かな落ち着いた環境です。コロナ禍以来、すべての教室でオンライン授業が行える機材を完備。学生たちが安心して学べる環境を提供しています。

さらに、2021年度よりフードトラックを導入。感染予防に配慮したオープンスペースでランチを取ることができます。そのほか、国際交流に利用するためのグローバルラウンジや、近年注目を集めるデータサイエンスを学ぶ専用教室など、学生生活に必要な施設がすべて一つのキャンパスに揃っています。



成城大学と成城の街

成城大学の母体である成城学園は1917年、澤柳政太郎によって創立されました。文部次官や東北・京都帝国大学総長などを歴任し、近代日本の教育制度確立に貢献した澤柳政太郎が「本当の教育」を目指して作った私立の小学校が成城学園の始まりです。

1925年、当時まだ雑木林の原野が広がっていた現在の地に学校が移転したことをきっかけとして、学園を中心とした街づくりがスタート。現在の成城の街が出来上がりました。



成城大学 生涯学習事業「成城 学びの森」

成城大学では、2006年より「成城 学びの森」の名称で、生涯学習支援事業を行っています。「成城 学びの森」は、「大学の知的財産を地域住民および市民一般へ還元し、地域における生涯学習の拠点となること」「参加者・受講生にリピーターとして期待をよせられるものとするだけでなく、地域住民と大学との交流の場として、また、社会人の大学院生、科目等履修生等として、発展的な学びの継続の起点となること」を目標として、「オープン・カレッジ」と「コミュニティ・カレッジ」の二つの事業を柱として展開しています。

オープン・カレッジ【無料】

「オープン・カレッジ」は、成城大学・成城学園、成城の地に緑のある方を講演者としてお招きして年に数回開催する講演会です。引き続き、従来の大教室での講演形式は実施せず、無観客型の「オンデマンド講演会」を実施しております。近年の講演会の模様は、[せたがやeカレッジ](https://setagaya-college.com/search.html?group=6&genre=&key word=)からもご覧いただくことができます。

※せたがやeカレッジ指定講座として動画配信中
<https://setagaya-college.com/search.html?group=6&genre=&key word=>



配信中

講師

井上 洋一

Youichi Inoue 奈良国立博物館館長



考古学の魅力

私を考古学研究者の道に向かわせた中学三年生夏休みの発掘体験。それから私は考古学の魅力にどんどんはまっていきました。考古学者に憧れ、大学・大学院で考古学を学び、紆余曲折を経て考古学研究者に。今回の講演では、私をここまで虜にした考古学の魅力につて、国内外での発掘調査の裏話も含め、お話ししたいと思います。さまざまな歴史の謎解きこそ、考古学の醍醐味です。しかし、考古学は単に古代のロマンを追い求めるだけのものではありません。時代・地域を異にする人間の営みを学ぶことで自分自身を振り返り、現代の社会や文化のあり方、そして未来の社会を考えるためにも考古学は重要な学問であることもお伝えしたいと思います。

Profile

1956年生まれ。専門は日本考古学、博物館学。國學院大學大学院博士課程後期単位取得。1985年東京国立博物館学芸部考古課先史室研究員に任官。その後、考古課主任研究官、先史室長、展示調整室長、教育普及課長、企画課長、九州国立博物館学芸部長、東京国立博物館学芸企画部長、東京国立博物館副館長などを歴任。2021年4月から現職。日本のみならずシリア、パキスタンなどで遺跡の発掘調査や保存修復プロジェクトにも参画。考古学研究を続けるとともに日本ならびに諸外国の各種展示会の企画運営にもあたってきた。また昨年まで成城大学非常勤講師として26年間、学生の教育にも携わってきた。國學院大學大学院非常勤講師、日本ユネスコ国内委員会委員、ICOM日本委員会理事として、後進の育成に努めるとともに、さまざまな文化財保護や博物館活動に参画している。

コミュニティ・カレッジ【有料】

「成城 学びの森 コミュニティ・カレッジ」は、春夏・秋冬の年間二期開催しています。本学の教員による、ユニークな講座ラインナップが特徴であり、好評です。2023年度秋冬講座は、対面式12講座、オンデマンド式3講座の合計15講座の開講を予定しております。

<https://ssl.smart-academy.net/seijo/>

※詳細は次ページのチラシをご覧ください



2023年度
10月-12月
秋冬講座

成城大学 生涯学習支援事業



成城 学びの森

コミュニティー・カレッジ

○受講料等の詳細はホームページにてご確認ください。

<https://ssl.smart-academy.net/seijo/>

○状況により変更となる場合がございます。 **申込受付開始：9月11日（月）**

No	講師	講座名	形式	講義回数
1	境 新一 経済学部教授	新事業創造のためのアート&デザイン思考とシステム運用:生成AIの可能性も視野に	対面	6回
2	赤塚 健太郎 文芸学部准教授	古楽に親しむ		6回
3	有田 英也 文芸学部教授	21世紀のシモーヌ・ヴェイユ		5回
4	鈴木 正信 文芸学部准教授	ヤマトタケル伝承を読み解く		6回
5	谷内田 浩正 文芸学部准教授	プレストン・スタージェス、恋愛喜劇映画の奇跡		7回
6	後藤 康雄 社会イノベーション学部教授	混迷するコロナ後の経済ー白書等による定点観測		5回
7	D. リチエズ 社会イノベーション学部教授	Dissidents and Activists of the 18th and 19th Centuries (1714-1914)		8回
8	岩見 寿子 成城大学非常勤講師	映画で読み解くアイルランド		5回
9	小沢 詠美子 成城大学非常勤講師	徳川将軍とその時代(吉宗から慶喜まで)		6回
10	田村 義也 成城大学非常勤講師	南方熊楠と大英博物館 新資料から見えるもの		5回
11	中根 美知代 成城大学非常勤講師	AIが語る奇妙な科学史 ICT社会での「学び」を考える		3回
12	D. ハリソン 成城大学非常勤講師	Britain, Colonialism and Its Empire		8回
13	河口 洋行 経済学部教授	文系のための統計学入門	オンデマンド	4回
14	塙 幸枝 文芸学部専任講師	コミュニケーションと社会		2回
15	小河原 あや 成城大学非常勤講師	アニエス・ヴァルダ『5時から7時までのクレオ』を観る		4回